

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	充電式インパクトレンチ DCIW-1820	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ)一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ)定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ)火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ)本書のご提示がない場合。
 - (ト)本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間：9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げ
の販売店にご依頼ください。
左記相談窓口では直接対応できま
せん。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

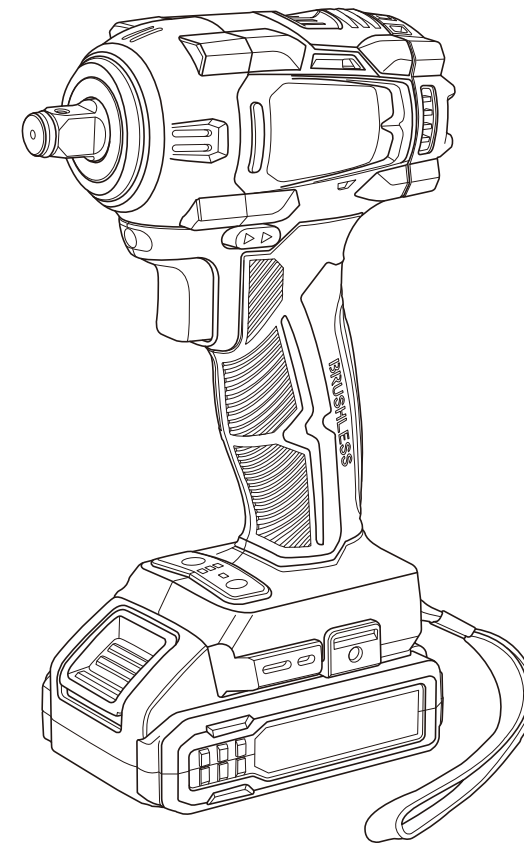
本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



充電式インパクトレンチ DCIW-1820 取扱説明書



Li-ion
バッテリーパックは
リサイクルへ

家庭用 本製品は家庭用です。業務用には
お使いにならないでください。

このたびは充電式インパクトレンチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具(砥石、ドリル等)を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れた人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
- ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

充電式インパクトレンチご使用上の注意

- 先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、充電式インパクトレンチとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ バッテリーパックについての警告

- 本機専用の充電器・バッテリーパックをご使用ください。異なる物だと充電や使用が出来ません。
- 充電器は銘板に表示のあるAC100Vの電圧でご使用ください。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。充電中は充電器を布で覆わないでください。熱がこもって故障の原因になります。
- 充電が終わりましたらバッテリーパックからアダプターを抜いて充電器を電源プラグから抜いてください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇しているときは30分以上間隔をおいて温度が下がってから充電してください。
- 充電時の温度は10°~30°の範囲内にしてください。それ以外の温度ですと十分な充電が出来なくなります。

⚠ 警告

- 使用中は肌の露出を避け、長袖長ズボン等、作業に適した服装をしてください。
- 本機は防水ではありませんので雨中での使用はしないでください。
- 使用中は振り回されないようにストラップに腕を通し本機をしっかり保持してください。
- 作業前にソケットが正しく取付けられているか確認してください。
- 動作中に正逆切り替えボタンを押さないでください。故障の原因になります。
- 使用中は本機の回転に巻き込まれる恐れのあるもの(ネクタイ、手袋など)は着用しないでください。回転部に巻き込まれてけがの原因になります。
- 市販のインパクトレンチ用ソケットは差込み角12.7mmをお買い求めください。手動用のソケットは破損するおそれがあるので使用しないでください。
- 自動車のホイールナットを締めるときは最後まで締めずに仮締めまでにして最後の本締めは必ず設定のトルクまでトルクレンチで手締めしてください。
- 特に締め付けの場合は締めすぎにご注意ください。本機はトルクが強力なので締めすぎるとナットやネジが破損する可能性があります。
- 時間が経つとナットは錆や汚れなどで固く固着していきます。固着したナットは無理に緩めようとせず始めに手動で少し回してから本機をご使用ください。
- 使用中、本機の異常に気がついた時は直ちにスイッチを切りバッテリーパックを抜いて使用を中止して販売店または弊社にご連絡ください。

仕様明細

■本体の仕様

型 式	DCIW-1820	
電 圧	18V	
無 負 荷 回 転 数	弱	0~850min ⁻¹
	中	0~1,850min ⁻¹
	強	0~2,550min ⁻¹
無 負 荷 打 撃 数	弱	0~1,000min ⁻¹
	中	0~2,550min ⁻¹
	強	0~3,100min ⁻¹
最 大 ト ル ク	弱	120N・m
	中	210N・m
	強	350N・m
締 付 け 能 力	普通ボルト	M10~M20
	高力ボルト	M10~M16
ソケット差込み角	12.7mm (1/2インチ)	
質 量	約1.5kg (バッテリー込み)	

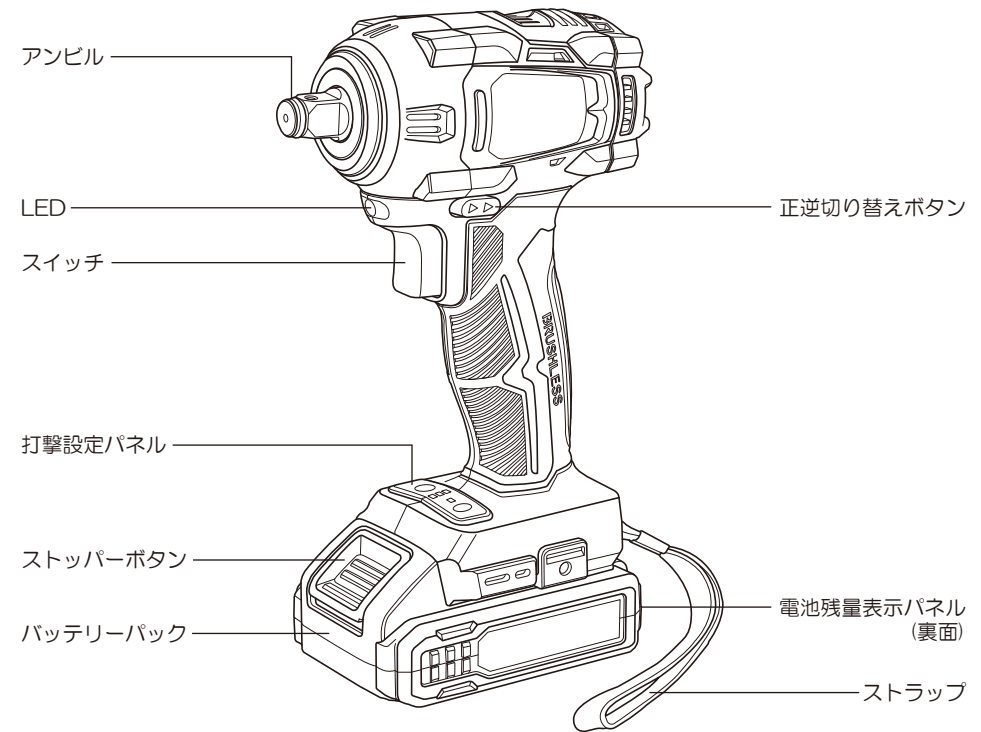
■バッテリーパックの仕様

型 式	LBP-1820
電 圧	DC18V
容 量	2.0Ah
出 力 電 圧	DC18V
質 量	0.38kg

■充電器の仕様

型 式	LBC-1820
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
入 力	100-240V~50/60Hz 0.8A
出 力	DC21.5V 1000mA
充 電 時 間	約80分
質 量	0.14kg

主要各部の名称



付属品の明細

バッテリーパック	充電器
ソケット 3本	ブローケース

ご使用前準備

■バッテリーパックの取外し、取付け方法

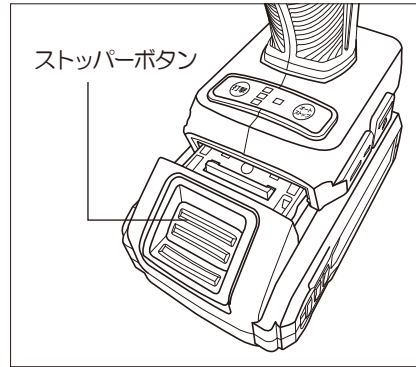
●取外し

- 中央のストッパーボタンを押しながら引いてください。

●取付け

- バッテリーパックの溝に本体を合わせて、ストッパーボタンは押さずにそのままカチッと音がするまで差し込んでください。

☞差し込み後は、確実にセットされていることを確認してからご使用ください。確実にセットされていない場合、使用中にバッテリーパックが落下して思わぬ事故の原因となります。



■バッテリーパックの残容量表示ランプについて

- バッテリー残量ボタンを押すと、バッテリーの残容量に応じたランプが点灯します。

●●●●	電池残量 約80~100%
●●●○	電池残量 約30~80%
●○○○	電池残量 約30%以下
○○○○	電池残量 0%

■リチウムイオン電池の使用可能温度および充電可能温度について

- 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池の特性として10℃以下および30℃以上の環境下ですと電池の性能が下がって使用出来なくなります。充電も出来なくなるので当てはまる場合は充電可能温度になってから充電をしてください。

冬期など周囲の温度が10℃未満	充電できません
外気温10℃~20℃の状態	充電可能です
外気温20℃前後	充電が効率的に行われます
外気温20℃~30℃の状態	充電可能です
夏期など周囲の温度が30℃以上	充電できません
使用直後でバッテリーパックが熱いとき	充電できません

■充電方法について

- ①充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。充電器のランプが緑色に点灯します。(充電待機状態)
- ②充電器の充電端子をバッテリーパック上面の充電端子に差し込んでください。充電器のランプが赤色に変わります。(充電中)
- ③約120分で充電器のランプが緑色に変わったら充電完了です。(充電完了)
- ④充電器の電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックから充電器の接続端子を抜いてください。

■充電器のランプ表示について

	緑色	充電器を電源に差し込んだ状態 充電完了した状態
	赤色	充電中の状態

■バッテリーパックを長持ちさせるには

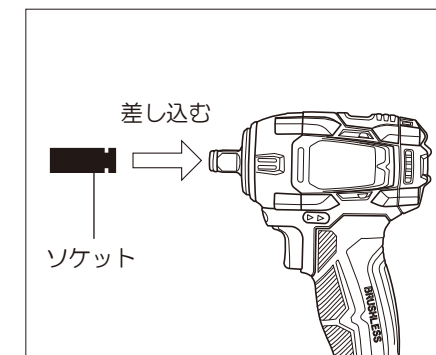
- このバッテリーパックは約300回の充放電が可能です。
- 保管するときは本体からバッテリーパックを外して保管してください。
- 長期間使用しない場合は、満充電にした状態で保管してください。

☞力が弱くなってきたと感じたら充電してください。電池残量0%の状態はバッテリーパックへの負荷が大きく電池寿命が短くなります。

☞冬期や使用直後など、充電可能な温度範囲外では充電が効率的に行われません。バッテリーパックを周囲温度が20℃くらいの場所にしばらく置いてから充電を行ってください。

■ソケットの取り付け方法

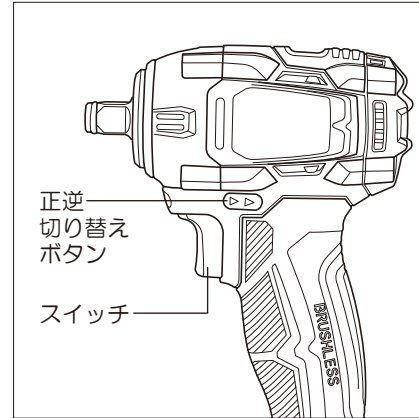
- ソケットの差込み角穴を本体先端のアンビルに差し込みます。
- 構造上、差込み角穴はアンビルに対して隙間がほとんど無いため位置が合っても差し込みにくいです。どうしてもきつくて差し込めない時はアンビルの先にほんの少し潤滑油を塗布してください。



ご使用方法

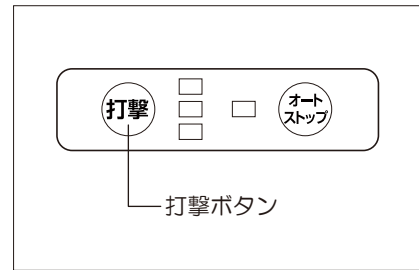
■スイッチと正逆切り替えボタンについて

- スイッチを引くと本機が動作し、離すと動作が止まります。
- 正逆切り替えボタンを押すことで正転(締付け方向の回転)、逆転(緩め方向の回転)を切り替える事ができます。



■打撃力の切り替えについて

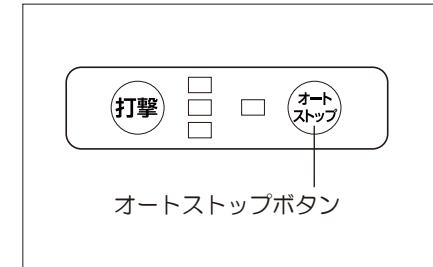
- 打撃設定パネルの打撃ボタンを押す度に打撃力が3段階に切り替わります。作業に合わせて適切な打撃力を選んでください。



打撃力	LED点灯数	締付けトルク	用途
弱	1	120N・m	締めすぎるとナットが破損してしまう作業 自動車のタイヤ交換など
中	2	210N・m	弱と強の間くらいの中程度の打撃力が必要な作業 配管等の仮締めなど
強	3	350N・m	パワーやスピードを優先したい作業 重量鉄骨等の仮締めなど

■オートストップモードについて

- 本機は一定の条件で自動停止するオートストップモードが搭載されています。
 - 打撃設定パネルのオートストップボタンを押す度にオートストップのON、OFFが切り替わります。
 - 正回転のオートストップは負荷がかかると停止するので締めすぎを防ぎます。
 - 逆回転のオートストップは負荷に関係無く停止するので緩めの際に緩めすぎてネジからナットが抜け落ちてしまうのを防ぎます。
- Ⓢ 負荷で停止するのは設定された負荷を越えた時なので停止するまでの時間は使用状況により多少異なります。



正逆転オートストップ (■ = 点灯)	正回転	逆回転	用途
	無負荷で連続回転 過負荷で停止	無負荷で瞬時停止 過負荷で停止	自動車のタイヤの交換など
	無負荷で連続回転 過負荷で停止	無負荷で瞬時停止 過負荷で停止	配管等の仮締めなど
	無負荷で連続回転 過負荷で停止	無負荷で瞬時停止 過負荷で停止	重量鉄骨等の仮締めなど

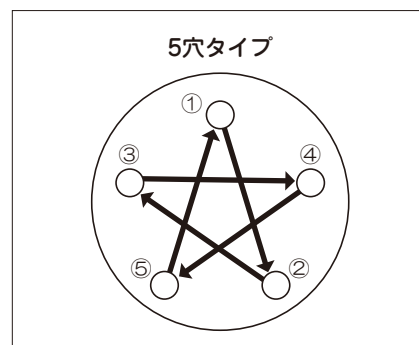
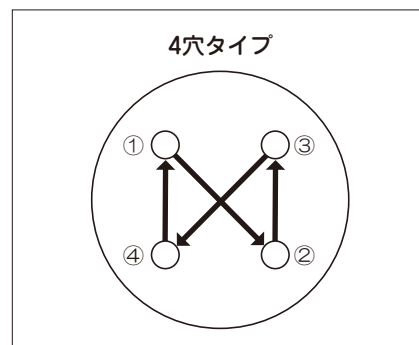
■ナット、ボルトの締め方について

- ナット、ボルトは先に手でネジ山に回し入れてから本機で続きの作業を行ってください。ナットやボルトがきちんと入らないまま本機で締めてしまうと強力な打撃によりナットやネジが破損する可能性があります。

■タイヤの取外しについて

- タイヤ交換の際は事前に設定された締付けトルクの確認などを行ってください。

- ①平坦な場所に車を停めてエンジンを停止したらパーキングブレーキをかけてください。
- ②交換するタイヤの対角位置のタイヤに輪留めをしてください。
- ③ホイールナットにソケットを合わせてください。
- ④逆回転でホイールナットを緩めますが、このときホイールナットが固着していてインパクトさせても全く回らない場合があります。その時は無理して本機で緩めようとせず、車載レンチ等で少し緩ませてから本機を使用してください。
- ⑤右図のようにホイールナットを対角線の順に緩めてください。
- ⑥全てのホイールナットが緩んだらジャッキをセットしてタイヤを持ち上げてください。
- ⑦全てのホイールナットを外してタイヤを取り外したら交換するタイヤを車体に取付けます。



■タイヤの取付けについて

- ①交換するタイヤを車体に取付けたらホイールナットを手で回し入れてください。
 - ②本機でホイールナットを仮締め（インパクトが始まるくらいの締付け状態）していきます。
 - ③全てのホイールナットを仮締めしたらジャッキを下降させてタイヤを地面に付けます。
 - ④設定されたトルクまでトルクレンチで本締めしてください。
- 注 本締めは本機を使わず必ずトルクレンチを使用してください。
- 注 ホイールナットを締めすぎるとボルトがねじれて折れたりネジ山を傷つけてしまいます。逆に締付け不足だと走行中にタイヤが外れる危険があります。タイヤの取付けは確実に行ってください。

保守、点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品の交換では必ずスイッチを切り、バッテリーパックを抜いてください。不意の起動によりけがの原因になります。

■バッテリーについて

- ①バッテリー容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
- ②バッテリーパックが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。作業を中断し、本体からバッテリーパックを外して冷却してください。
- ③本体が過負荷状態になりますとモーターが停止する場合がありますが、これは保護機能によるもので故障ではありません。この場合いったんスイッチを放し、過負荷にならないように使用してください。

■本体のお手入れ

- 各部のネジが緩んでいないか点検して、緩んでいたら締め直してください。
- 作業後は切りくずや樹液などで本体が汚れますので乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

■保管について

- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 錆びの原因になるので保管の際は本機に付いた水分はしっかり拭き取ってください。その上で湿気の多いところでは保管しないでください。
- 劣化の原因になるので直射日光のあたる場所では保管しないでください。

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- リチウムイオン電池は外気温が0℃未満や30℃以上だと能力が極端に落ちますので外気温を確認してください。
- 負荷によりモーターの温度が高くなるとモーターが止まります。モーターの温度を冷ましてからご使用ください。

充電できなくなりました

- 充電器が電源に差し込まれているか確認してください。
- 延長コードを使用している場合は直にコンセントに接続して充電出来るか確認してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲内か確認してください。
- 使用直後でバッテリーパックが熱いと充電できません。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

ホイールナットが全然緩まないのですが

- ホイールナットが錆や汚れで固着することは珍しくありません。固着したホイールナットは本機でも緩まないことがあります。このような場合は無理に本機で緩ませようとせず、車載レンチ等で手動で力を加えてみてください。それで少しでも緩めば後は負荷が軽減されて本機で緩ませる事が出来るようになります。
- 正回転で緩ませようとしていませんか？

ソケットがどうしても入りません

- ソケットとアンビルはほぼ同寸のため隙間が全くありません。そのため正確に位置を合わせてもなかなか差し込めない場合がありますが必ず差し込めますので力を込めて差し込んでください。潤滑油を少し付けるのも効果があります。

本体内部から火花が見えるのですが

- モーターの特性として火花が見えることがありますが、使用には問題ありません。

動作中に焦げ臭い匂いがした、煙が出た

- モーターが焼き付いている可能性があります。ただちにスイッチを切り本体を冷ましてください。